

## 日光社山山行報告



【山行日】2019年10月27(日) 曇り時々晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30

【費 用】マイカー1台 : 1,400円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、齊藤、関、福島、  
福田々、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 6:30 = 立木観音  
P7:30/7:50 ~ 狸窪 8:30 ~ 半月峠 9:10/9:20 ~

阿世潟峠 10:00/10:10 ~ 社山 11:30/11:40 ~ 1650m  
P12:10/12:40 ~ 阿世潟峠 13:20 ~ 阿世潟 13:40

~ 立木観音 P14:20/14:40 = 栃木市運動公園 P16:30

10月26~27日に七面山と八紘嶺に登る予定だったが、台風19号の影響で中止を余儀なくされた。代替の山行として紅葉が見ごろのコースを考え、日光社山を計画した。栃木市運動公園を6時30分に出発し、心配した渋滞も無く予定通り立木観音 P に着いた。駐車場も空きスペースがいくつかあり、トイレの近くに止めることが出来た。トイレは改修工事が完了し、とても綺麗なトイレにリニュー

アルされていた。感謝しながら新しいトイレを使用させてもらい、ストレッチを済ませて出発する。湖岸沿いの歩道を進み、中禅寺湖スカイライン入口手前から右斜めに入る湖岸沿いの道を歩いて行く。イタリア大使館跡を通り抜けて行くと近道で、庭園の紅葉が見頃で中禅寺湖の眺めが素晴らしい。木々の紅葉を楽しみながら歩き、八丁出島が見えるとこれまた紅葉が素晴らしい。アツと言う間に狸窪に着き、ここから2班に分けて行動する。健脚組は狸窪から半月峠経由で社



山を目指し、のんびり組は阿世潟から阿世潟峠に登って社山を目指す。記念写真を撮ったら分かれて、半月峠への登山道を登って行く。登り始めは針葉樹林の荒れた道だが、高度を上げると広葉



樹林の歩きやすい道に変る。九十九折れの登山道は快適で、紅葉や黄葉の合間から中禅寺湖が望め、疲れを癒してくれる。標高差300mを登り切ると半月峠に出て、足尾山塊の山並みが望める。景色を楽しみながら小休止し、リンゴをいただき水分を補給する。ここからは展望がよい尾根歩きとなり、男体山や白根山、足尾の中倉山から皇海山を見ながら爽快に歩いて行く。特に足尾側の山々は緑の中に赤や黄色に染まった木々が点在し、一幅の絵画を見ているようだった。

すぐに中禅寺山のピークに着き、女性2人が昼食を食べていたので素通りする。ここからの下りも景色が素晴らしく、「いいね～いいね～」と満足そう。途中で登って来る男性から「仲間の方と半月



峠で会いました」と声を掛けられ、3人も元気に登っていると確認できた。半月峠で休憩し、行動食や水分を補給しこれからの急登に備える。登り始めはカラマツ林の緩やかな道だが、徐々に傾斜がきつくなり展望が開けてくる。雨量計が立つピークを過ぎ、次の1650mのピークは眺望がすばらしい。中禅寺湖から男体山、戦場ヶ原から白根山が望め「社山はこんなに素晴らしい山なんだ」と感激していた。ここから先はさえぎる物も無い展望コースで、日光連山や足尾山

塊から前日光の山々を眺めながらのスカイライン。いくつかのピークを越え、コメツガの樹林帯を過ぎると社山山頂に着く。山頂で先行隊と無事合流し、登頂の喜びを分かち合ったら記念写真を撮る。ここで昼食を食べる予定だったが、時間が早いので展望が良いピークまで下って食べることにする。展望抜群の1650mピークまで下り、ここで景色を眺めながらランチタイムとする。本日の山ご飯は、キノコたっぷりのお蕎麦。絶景を見ながら温かいキノコ蕎麦に舌鼓を打ち至福のひとつき。お茶を飲んだら、デザートはナシとリンゴをいただきのんびり過ごす。下りは全員一緒に下り、足元に気を配りな



がらゆっくり降りて行く。阿世瀧峠まで下れば少し安心し、ここからは紅葉の樹林帯をのんびり下って行く。阿世瀧から湖畔の道を戻り、立木観音駐車場手前まで来ると雨が落ちてきた。速足で車まで戻り滑り込みセーフ。濡れずに戻れ「良かったね」と顔を見合わせる。雨は直ぐに止み、晴れ間が見えてきたがこれで終わらなかった。いろは坂から日光市内は晴れてきたが、宇都宮に近づくと雨脚が強くなる。大谷 PA に寄った時は雨は降ってなかったが、鹿沼市に近づくと雨が強くなり、後ろの宇都宮方面は晴れて虹が出

ていたが、栃木市方面は黒い雲で雨が降っていた。予定通り栃木市運動公園に着いたが、雨の中での解散となってしまった。